



2月 フルーツミックス

子どもたちは、寒さに負けず元気いっぱい戸外で身体を動かしてあそんでいます。室内では、おままごとをしたり、ブロックなど好きな遊びを楽しんでいます。友だちと関わって遊ぶことで、コミュニケーションや社会性、協調性が育っています。

2月のねらい
0歳児…トンネルや浮き輪を通る遊びを通して自分の身体の輪郭「ボディイメージ」を知る。
1歳児…物の名前や色、大小などを遊びに取り入れ、言葉(発語)や理解につなげる。
2歳児…経験したことを友だち同士でやり取りしながら遊ぼうとする。

さくらんぼ組

ここ！
〇〇ちゃんどこだ？



お友達存在に気づき始めています。



どうぞ。

ありがとう。

乳児クラスのはじめは、子ども対保育者、子ども対おもちゃなど1対1の関係が主でしたが、子どもと保育者とおもちゃのように三項関係でのやり取りができるようになります。指差しをして、子どもと保育者が同じものをみる事を「共同注意」といいます。共同注意は子どもの精神発達や言語発達に影響を与えます。「このお花きれいだね」や「積み木をどうぞ」など同じものを見て感じられるように関わると子どもは「もっと気持ちを伝えたい」と思うようになり、言葉や表現が豊かに成長します。

いちご組

どうぞ!!いちごジュースを入れてあげるね。



おかわりちょうだい。



いっしょにたべよう？



ちょうだい。



ままごと遊びでは、〇〇のつくり、見立てて遊ぶことで想像力が育ちます。友だちや大人との言葉のやりとりを通して言語力や表現力が育ちます。様々な大きさのお手玉や、花はじき、チェーンリングなども組み合わせて、子どもが自分の想像力を使い、見立てるということを大切にしています。

りんご組

お友達同士のとのやり取りをしようとする姿が増えてきています。



あかちゃんおねつあるよ。

あかちゃんのおくすりです。おだいじに。

おなじくらいおおきいね。



お互いに役を決めたり1つの遊びを楽しみながら共通の世界観を共有することが出来るようになっていきます。



パンがやけましたよ。

この時期に大切にしていることは、子どもの発想を妨げないように見守るようになっています。そして、保育者も一緒になって楽しみながら少し遊びにつながるヒントや方法を伝えることでより遊びが展開していきます。

